

た報

なごみ

3

◆特集

この1年こんなことがありました
新生「和水町」この1年を振り返って

和水町まちづくり計画(和水町総合計画)策定に係る

- ◆住民アンケート調査集計結果報告
- ◆まちの話題
- ◆戦国肥後国衆まつりスペシャル
- ◆医療
- ◆国民健康保険
- ◆国民年金
- ◆介護保険
- ◆税
- ◆お知らせ



童話発表会



7月21日(金)、中央公民館で「童話発表会」が開催されました。各小学校(菊水中央・菊水南・菊水東・菊水西・春富・神尾・緑・十町分校)から選ばれた児童14名が、創意工夫を凝らしながらそれぞれに選んだ童話を一生懸命発表しました。

7月
JUL

両地区町民体育祭



5月28日(日)、三加和グラウンドで「和水平町民体育祭(第34回三加和大会)」が開催されました。10月1日(日)には、和水平総合グラウンドで「和水平町民体育祭(第47回菊水大会)」が開催されました。両地区とも会場は大いに盛り上がり、熱気に包まれました。

5月・10月
MAY-OCT

古墳祭



8月1日(火)・2日(水)、肥後民家村一帯で「古墳祭」が開催されました。2日間でさまざまなイベントが行われ、卑弥呼(第22代目 辻恵美子さん(馬場))を先頭に800人の古代人が練り歩く松明行列は幻想的で見る人を魅了しました。昭和46年から始まった古墳祭は、今回で36回目を迎えました。

8月
AUG

公州市と姉妹友好の調印式



8月1日(火)、大韓民国の公州市から10名の訪問団が来町し、和水平と姉妹都市友好交流に関する協定を締結しました。旧菊水町と公州市は、古墳から酷似した出土品が発掘されたことから、古墳が取り持つ縁で昭和54年から国際姉妹都市を締結していました。この協定は両市・町の発展と繁栄に寄与しようというもので、これまでの交流にまた新たな歴史が刻まれました。

8月
AUG

公民館分館親善ペタンク大会



8月20日(日)、総合グラウンドで参加者885名、241チームが参加して「公民館分館親善ペタンク大会」が開催されました。ペタンク競技を通じて、楽しみながら健康増進とスポーツの振興、分館相互の親睦を図ることができました。

8月
AUG

行政懇談会を開催



8月18日(金)、ふれあい会館で、22日(火)に三加和公民館で行政懇談会が開催され、さまざまな分野でまちづくり活動を行っている団体や住民のみなさんから幅広いご意見やご提案をいただきました。町の行政運営やまちづくりについての意見交換が行われ、これからの和水平を町民みんなで考えていく貴重な時間となりました。

8月
AUG

この1年こんなことがありました

新生「和水平」この1年を振り返って

新しい和水平が誕生して1年。
合併後を振り返ると、さまざまなことがありました。
その中から主なニュースを紹介します。



和水平誕生

3月1日

平成18年3月1日、旧菊水町、旧三加和町の2町が合併し「和水平」が誕生しました。役場本庁及び総合支所での開庁式後、新町での業務がスタートし、窓口には住民票の申請など、さまざまな手続きを行う町民のみなさんが訪れました。

第1回区長会



5月9日(火)、中央公民館で合併後初の「区長会」が開催されました。菊水地区40行政区、三加和地区26行政区、合わせて66行政区の区長が一堂に会し、新町の様々な課題について協議が行われました。また、9月13日(水)・14日(木)には、視察研修が行われ鹿児島県日置市を訪れました。

5月
MAY

初めての選挙・議会



4月16日(日)、町長選挙、町議会議員一般選挙が行われ、新町長と新議員16名が決定しました。27日(木)・28日(金)には、第1回臨時議会が開催され、新しい議会が発足しました。また6月の定例会では、平成18年度一般会計当初予算約53億9,000万円、特別会計予算約64億2,000万円、総額約118億1,000万円が可決承認されました。

4月
APR

金栗四三翁杯なごみ子ども駅伝大会

12月
DEC



12月2日(土)、和水平陸上競技協会の主催で「金栗四三翁杯なごみ子ども駅伝大会」が三加和公民館周辺特設コース(6区間8.6km)で開催されました。過去最多の21チームが出場し、町内各小学校の子どもたちが健脚を競いました。

地域婦人会主催の映画上映会

11月
NOV



11月23日(木)、ふれあい会館で和水平地域婦人会主催の映画上映会が開催されました。上映会は、女性の視点から小さな子どもさんがいても安心して鑑賞できるようにと託児所が準備されました。当日は、大好評でたくさんの人々が訪れ、喜びの声が聞かれました。

ふれあい高齢者の集い

9月
SEP



9月15日(金)、敬老の日・老人週間にちなみ、ふれあい会館で「ふれあい高齢者の集い」が開催されました。約700人の高齢者が参加され、レクリエーションや演劇に笑顔がこぼれ、楽しい時間が流れました。

金婚夫婦等表彰式

9月
SEP



9月8日(金)、三加和公民館でプラチナ婚(1組)・ダイヤモンド婚(31組)・金婚(57組)夫婦のみなさんと、百寿(3名)・米寿(91名)を迎える方々を祝いました。会場は和やかな雰囲気になりました。

消防出初式

1月
JAN



1月7日(日)、菊水中学校グラウンドで「消防出初式」が盛大に開催されました。425名の消防団員は、通常点検、分列行進、玉落とし競技、一斉放水などが規律正しく、また勇壮に行われました。

成人式

1月
JAN



1月4日(木)、合併後初めての「成人式」が三加和公民館で行われ、129名の新成人が出席しました(2007年成人者147名)。新成人たちは華やかな和服やスーツに身を包み、大人としての決意を新たにしていました。

青年団ウォークラリー大会

11月
NOV



11月12日(日)、青年団主催の「和水平青年団ウォークラリー大会」が開催されました。町内外からたくさんの参加者が集まり、三加和温泉周辺約3kmをコースに、町内にまつわる問題やレクリエーションを楽しみながら和水平の自然を満喫しました。

まちづくり講演会

10月
OCT



10月12日(木)、住民が中心となり地域が主体となった魅力あるまちづくりを進めることを目的として、ふれあい会館で「まちづくり講演会」が開催されました。熊本大学の上野真也教授をお招きして「今、なぜまちづくりが必要なのか」と題した講演が行われました。

戦国肥後国衆まつり

2月
FEB



2月11日(日)、和水平町多目的広場で「戦国肥後国衆まつり」が開催されました。『武者行列と一揆の再現』では、肥後国衆一揆最後の激戦である「田中城の戦い」を、鎧に身をまとった総勢60名の武者達が壮絶な戦いを再現。また、会場は地元特産品の販売コーナーなどもあり、多くの来場者で賑わいを見せました。

玉名駅伝大会初優勝

1月
JAN



1月14日(日)、和水平町体育館をスタート・ゴールに「玉名駅伝大会」が開催されました。今回から平成の大合併に伴い、郡内の市町村が減少したこと等により「玉名郡駅伝大会」から「玉名駅伝大会」と名称が変更されました。玉名郡市6チームが全10区間44.0kmのコースで健脚を競い、見事、和水平チームが初優勝を飾りました。

山太郎祭inなごみ

11月
NOV



11月18日(土)・19日(日)、肥後民家村一帯で「山太郎祭inなごみ」、同時に「菊池川の日スペシャル」が開催されました。大人気のガネ飯の販売や健康ウォーキング大会、トーク&ライブなどおいしい秋の味覚と楽しいイベントで会場は賑わいを見せました。

熊本県立大学と包括協定調印式

11月
NOV

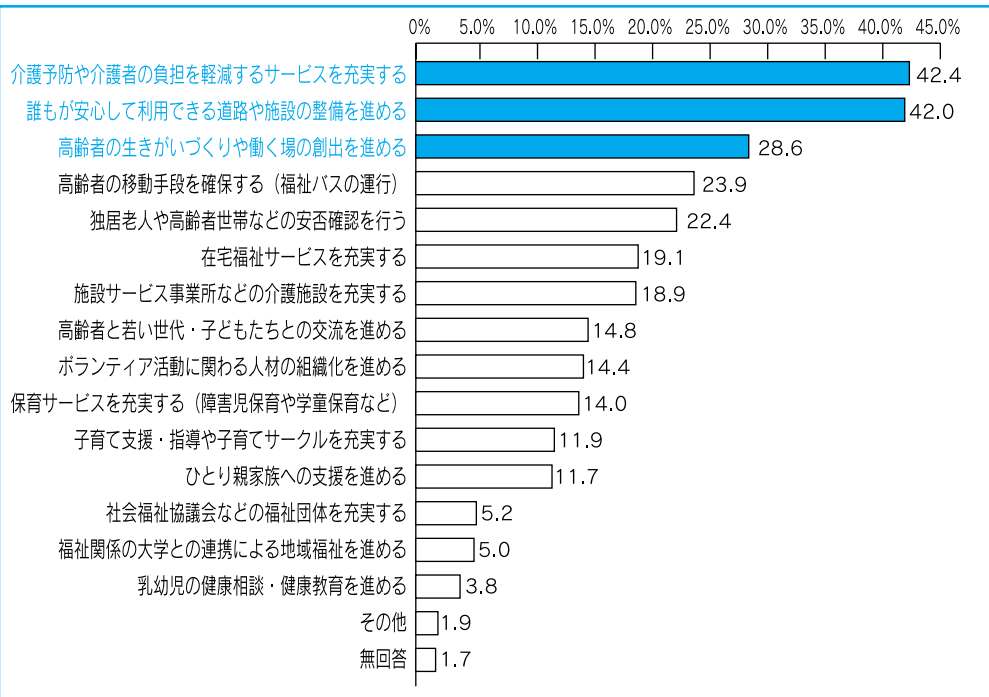


11月13日(月)、熊本県立大学と包括協定を締結しました。今後は本町の地域づくり、環境保全に関する活動、人材育成、教育システムの研究活動や、大学生の地域での活動など、様々な取り組みを協力・連携して行っていくこととなりました。

2.まちづくり施策の方向

(1) 保健・医療・福祉

① 地域福祉の充実について、力を入れる分野(3つまで回答)

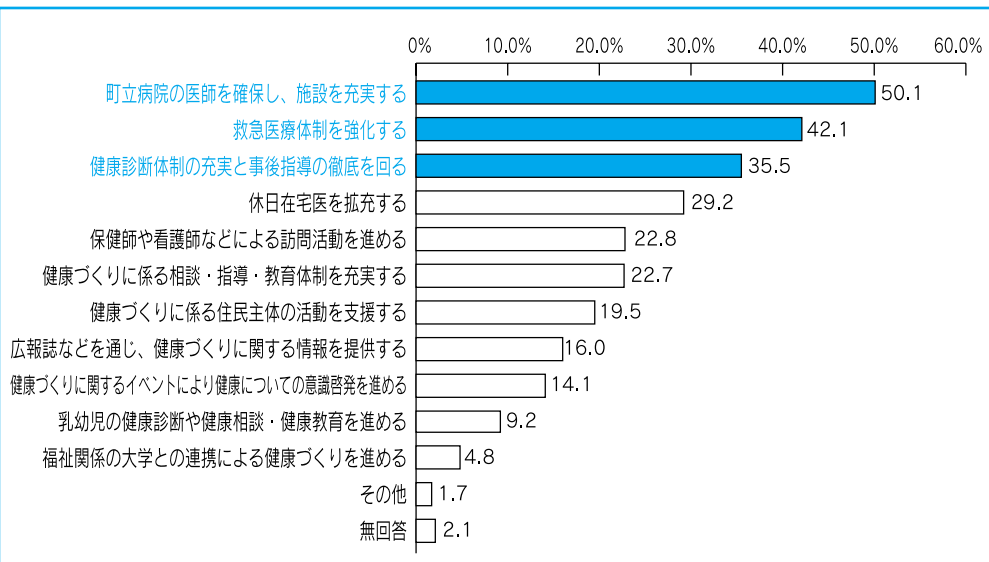


地域福祉については、特に「介護予防や介護者の負担を軽減するサービスの充実(316人、42.4%)」と「誰もが安心して利用できる道路や施設の整備(313人、42.0%)」を求める声が多かった。

最も期待が高かった「介護予防や介護者の負担を軽減するサービスの充実」を、年齢別に見ると40才～59才の年齢層が求めていることがわかる。

次いで、「誰もが安心して利用できる道路や施設の整備を進める」については、60才以上の高齢層が高い割合で望んでいる。

② 健康・医療の充実について、力を入れるべき分野(3つまで回答)



健康・医療については、「町立病院の医師を確保し、施設を充実する(376人、50.1%)」が最も多く、町立病院への期待が伺える。

次いで、「救急医療体制を強化する(316人、42.1%)」「健康診断体制の充実と事後指導の徹底を図る(266人、35.5%)」と続いた。総じて少子高齢化の現状を背景に保健・医療・福祉に対する期待は高まっている。

「町立病院の医師を確保し、施設を充実する」について、旧町別と年代別に見ると、菊水地域(62.7%)と30歳代(58.5%)が強く望んでいる。



▲豊かな自然



▲活気ある産業



▲実りある農業

和水町まちづくり計画(和水町総合計画)策定に係る 住民アンケート調査集計結果報告

○調査の目的

和水町では概ね10年後の未来を見据え、まちの将来像やまちづくりの基本方針、それを実現するための施策の方向等を示す「まちづくり計画」(和水町総合計画)の策定を進めております。

計画策定にあたっては、町民の皆様の町政に対するご意見・ご提案を把握し、計画に反映したいと考え、住民アンケート調査を実施しました。この度、その集計結果をお知らせします。

○調査の概要と回答者の属性

調査対象	18歳以上の町民から無作為抽出した1,500人		
調査期間	平成18年9月		
調査方法	郵送での配布・回収		
調査配布数	1,500票		
調査回収数	755票	性別	割合
回収率	50.3%	男性	42.8%
有効回答数	753票	女性	56.6%
有効回答率	50.2%	無回答	0.7%

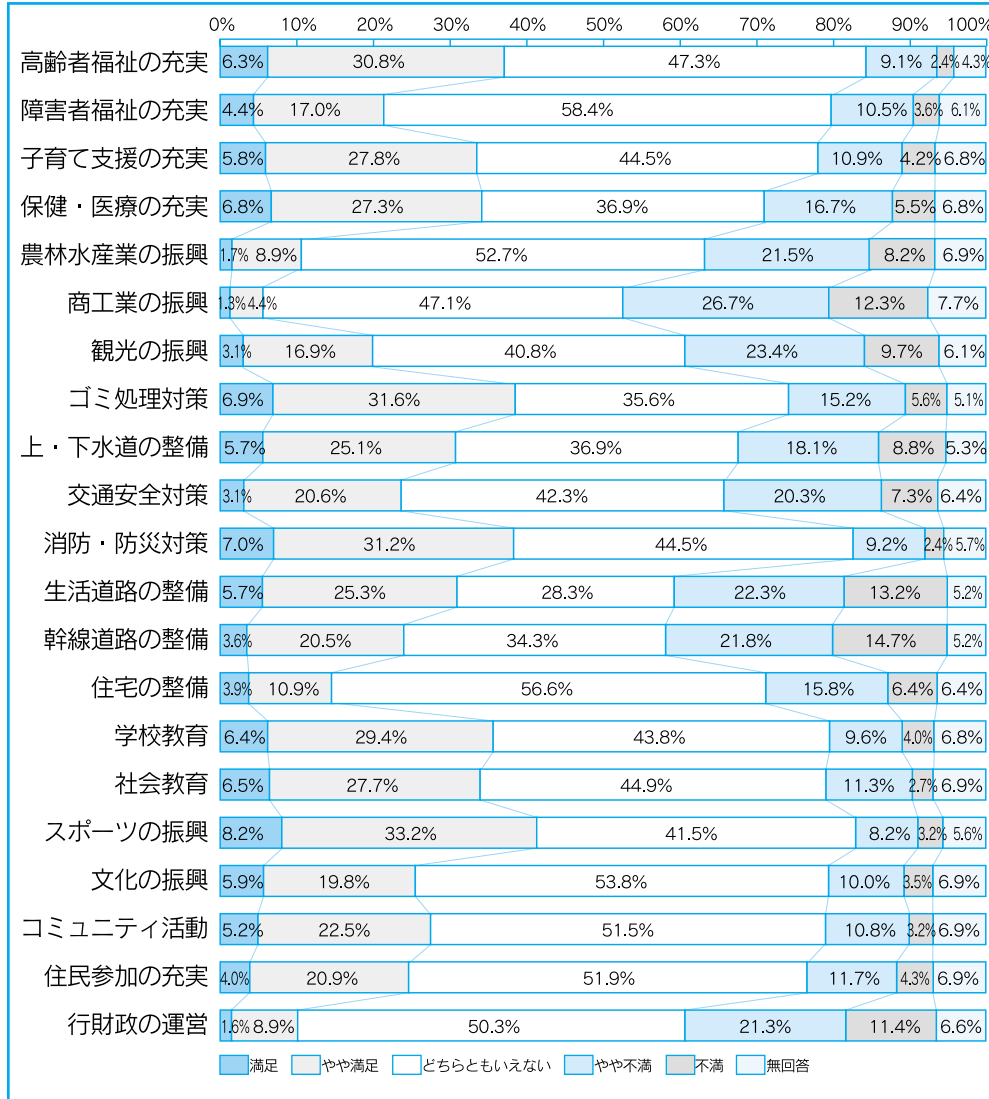
調査内容

アンケート調査の設問概要は、次のような構成です。

- まちづくりの課題では、合併前の旧町の施策に対する評価を尋ねています。
 - まちづくり施策の方向では、福祉・保健・医療、産業、生活環境、教育など各分野で、今後、力を入れるべきことを尋ねています。
 - 将来のまちづくりの方向では、今後力を入れるべき施策を尋ねています。
- ※ 2.まちづくり施策の方向と、3.将来のまちづくりの方向では、複数回答をお願いしていますので、各選択肢の回答割合の合計は100%にはなりません。

1.まちづくりの課題

旧町で進めてきたまちづくり施策の満足度



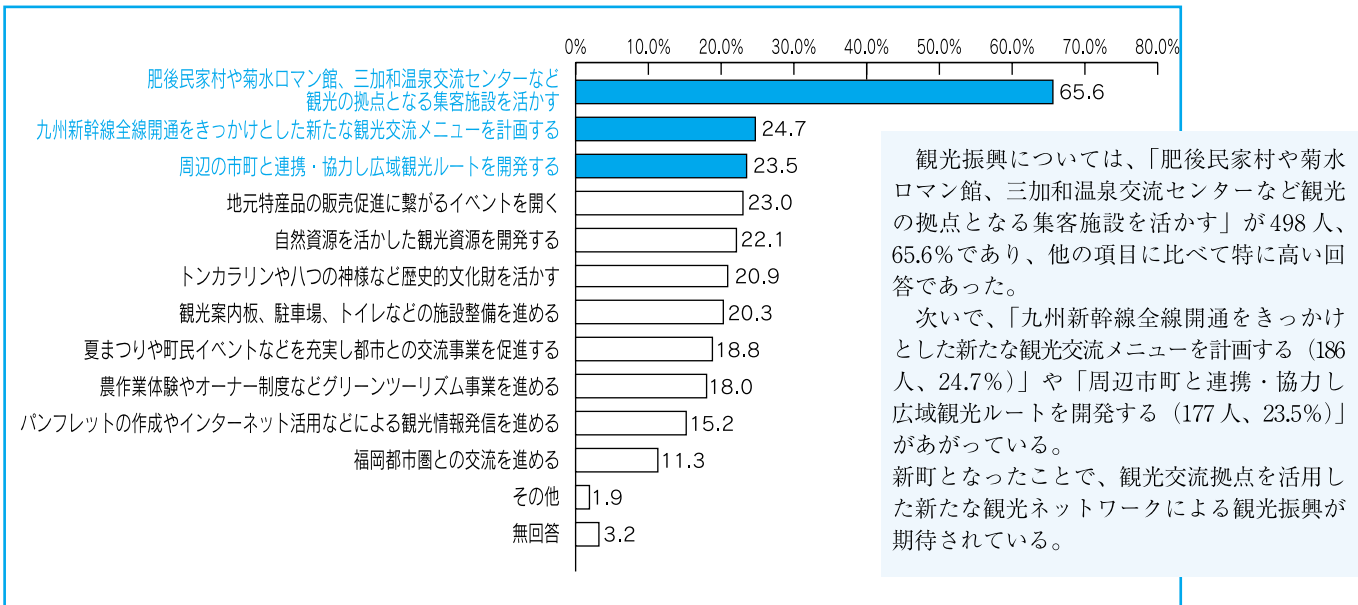
合併前の旧菊水町・旧三加和町で進めてきたまちづくり施策について、“満足”“やや満足”と回答した割合が最も高かったのは、「スポーツ振興(41.4%)」であった。

次いで高かったのが「ゴミ処理対策(38.5%)」「消防・防災対策(38.2%)」「高齢者福祉の充実(37.1%)」「学校教育(35.8%)」であった。

これに対して、“不満”“やや不満”と回答した割合が高かったのは、「商工業の振興(39.5%)」「幹線道路の整備(36.5%)」「生活道路の整備(35.5%)」「観光の振興(33.1%)」「行財政の運営(32.7%)」であった。

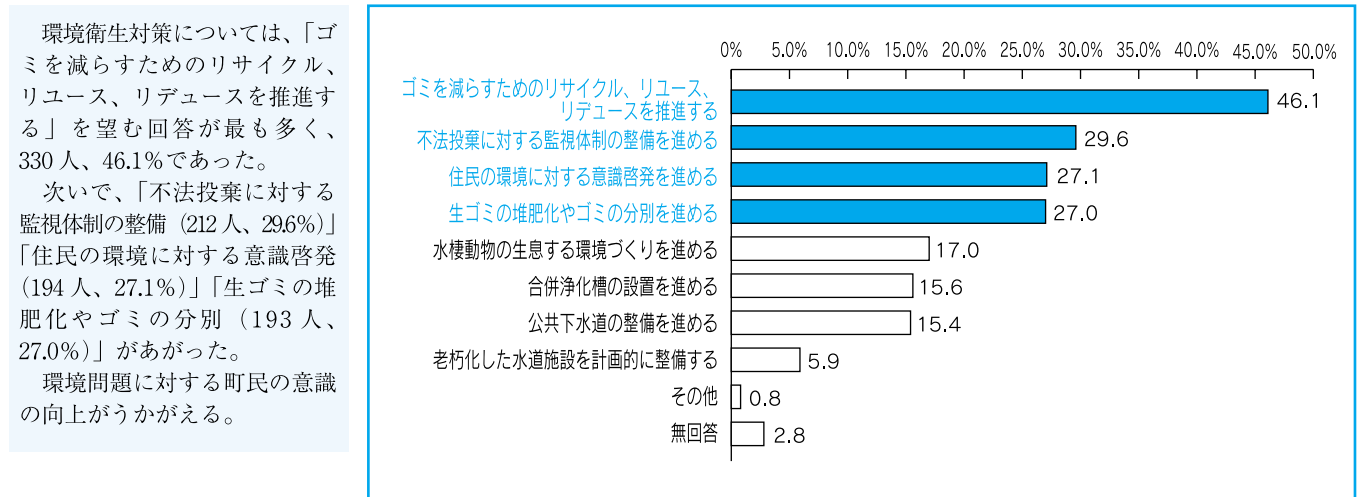
2次集計(旧町別集計)を行ったところ、特に、満足度が低かった(不満・やや不満)3項目「商工業の振興」「幹線道路の整備」「生活道路の整備」については、「商工業の振興」では旧菊水町(40.0%)と旧三加和町(39.6%)が共に高い割合で不満の意向を表わしている。「幹線道路の整備」「生活道路の整備」では旧三加和町が特に満足度が低い結果となった。

④ 観光振興について、力を入れるべき分野（3つまで回答）

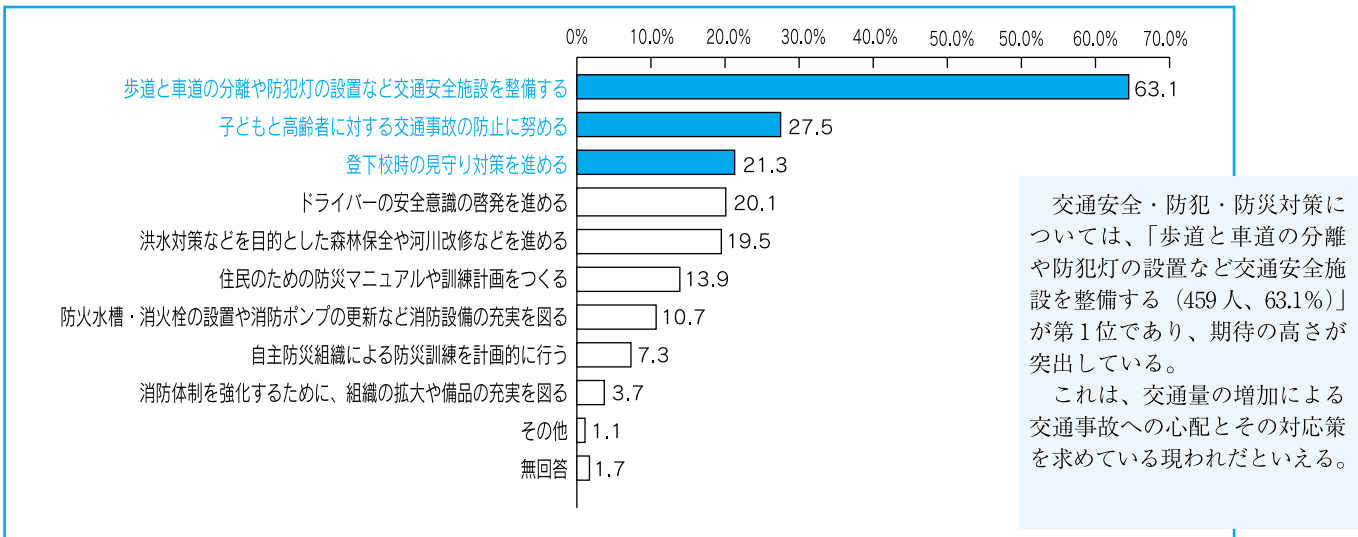


(3) 生活環境

① 環境衛生対策について、力を入れるべき分野（2つまで回答）

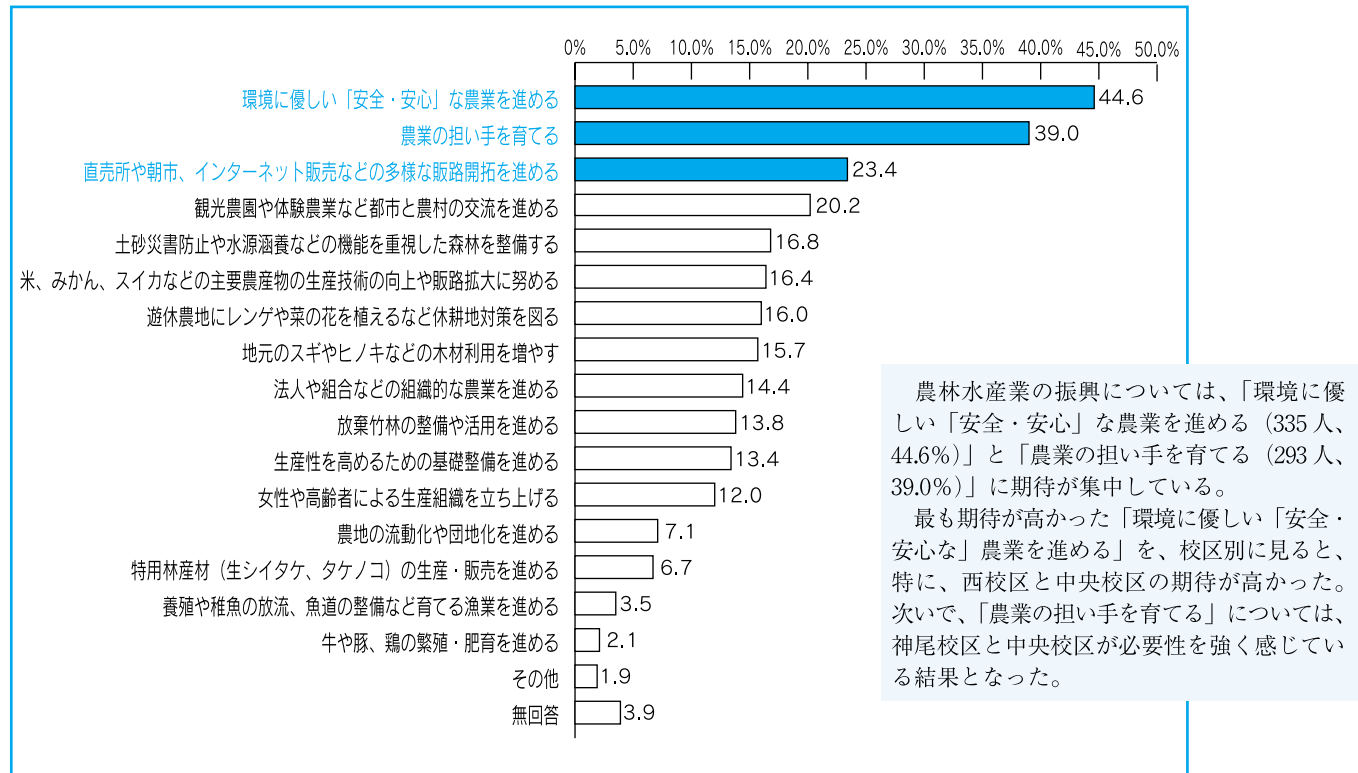


② 交通安全・防犯・防災対策について、力を入れるべき分野（2つまで回答）

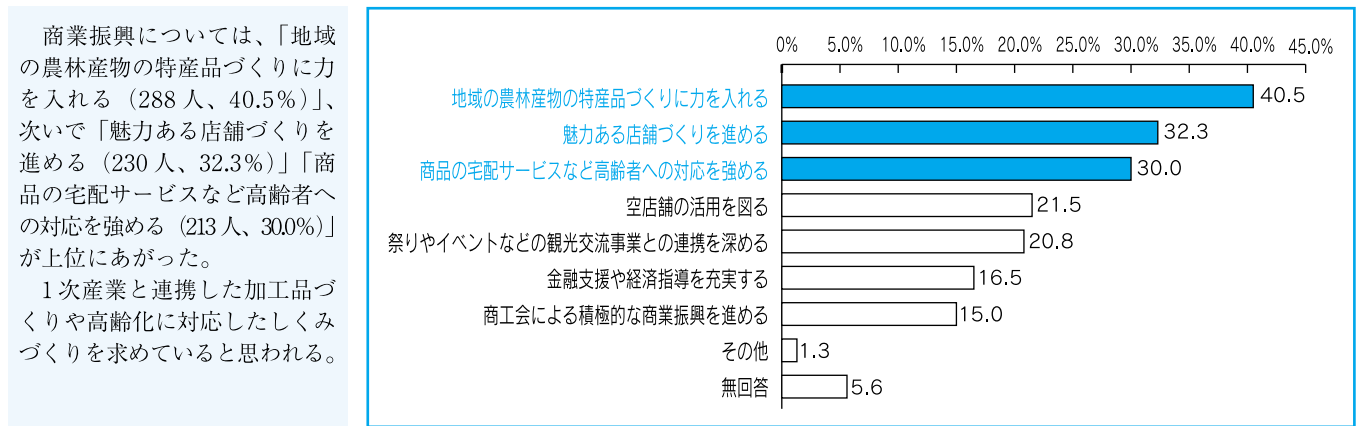


(2) 産業

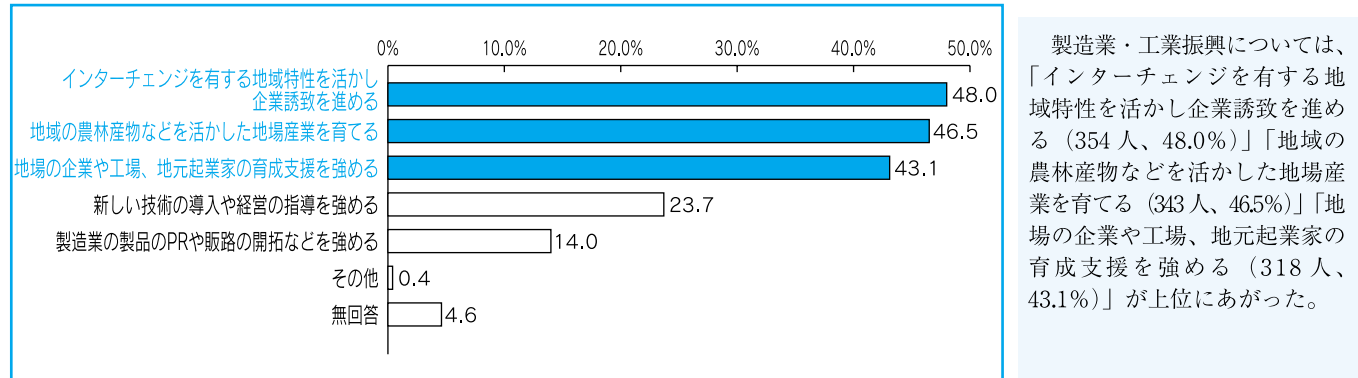
① 農林水産業の充実について、力を入れるべき分野（3つまで回答）



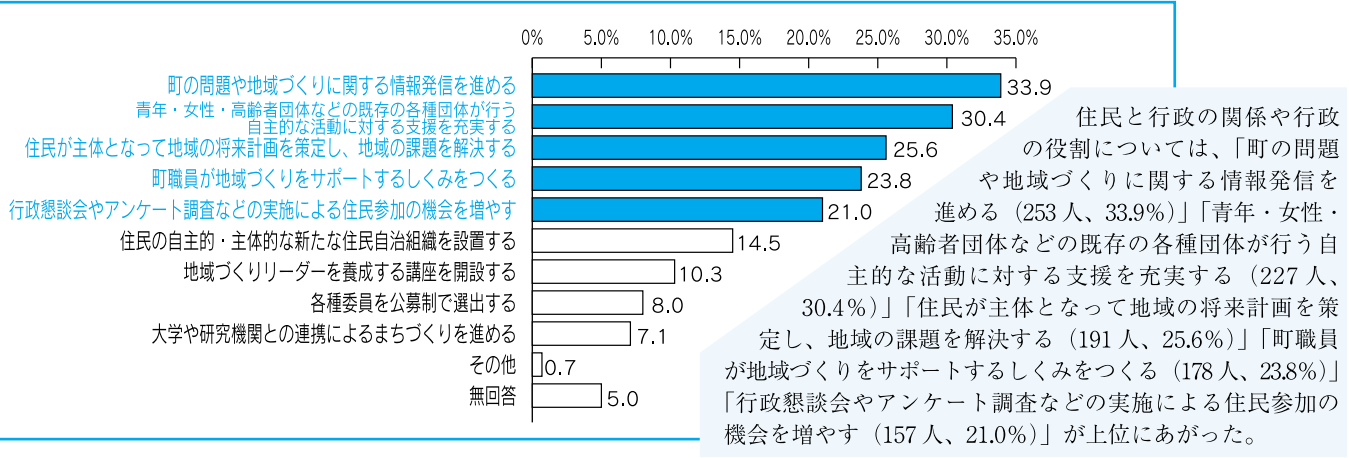
② 商業振興について、今後力を入れるべき分野（2つまで回答）



③ 製造業・工業振興について、力を入れるべき分野（2つまで回答）

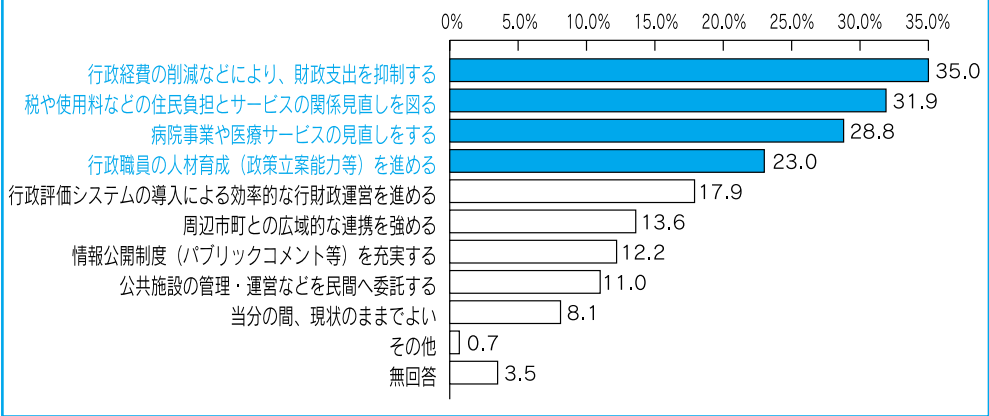


(5) 住民と行政の関係や行政の役割について、力を入れるべき分野(2つまで回答)



(6) 行財政運営と住民サービスについて、何を望むか(2つまで回答)

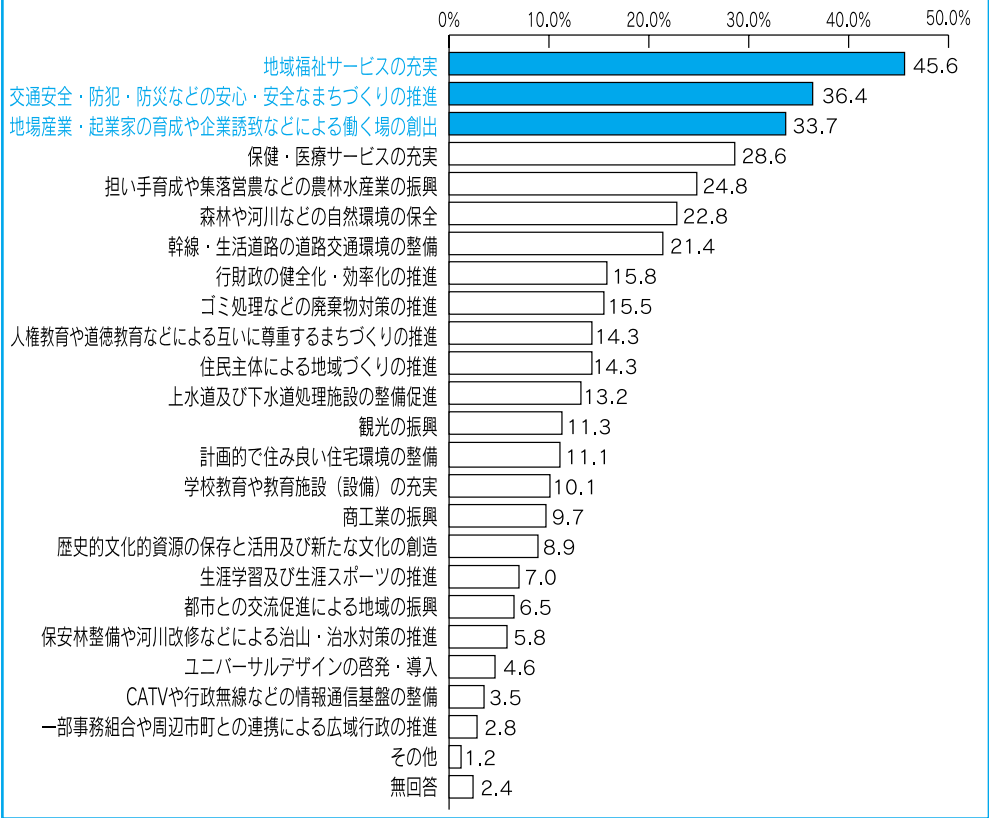
行財政運営と住民サービスについては、「行政経費の削減などにより、財政支出を抑制する」を望む回答が最も多く、260人、35.0%であった。次いで「税や使用料などの住民負担とサービスの関係見直しを図る(237人、31.9%)」「病院事業や医療サービスの見直しをする(214人、28.8%)」「行政職員の人材育成(政策立案能力等)を進める(171人、23.0%)」が良かった。



3.将来のまちづくりの方向

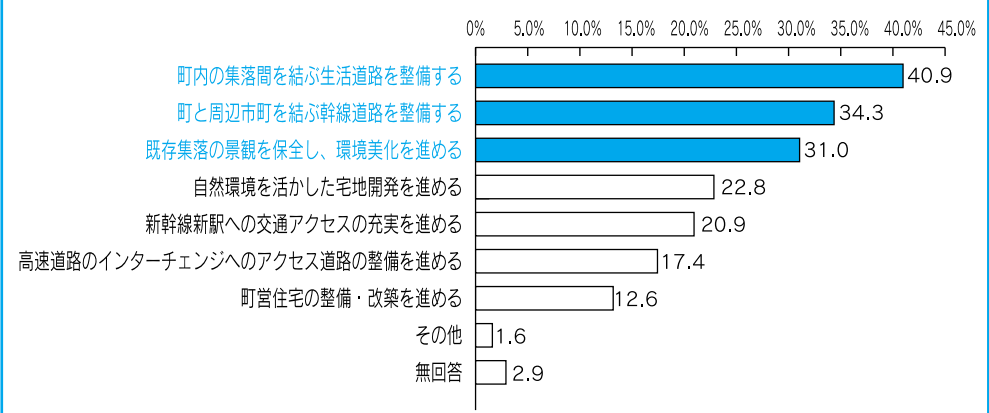
今後力を入れるべきまちづくり(4つまで回答)

今後力を入れるべきまちづくりについては、「地域福祉サービスの充実(338人、45.6%)」「交通安全・防犯・防災などの安心・安全なまちづくりの推進(270人、36.4%)」「地場産業・起業家の育成や企業誘致などによる働く場の創出(250人、33.7%)」が他の項目に比べ多数の回答を得た。最も期待が高かった「地域福祉サービスの充実」を校区別に見ると、特に中央校区と神尾校区が高い結果となった。次いで、「交通安全・防犯・防災などの安心・安全なまちづくりの推進」については神尾校区と春富校区が、「地場産業・起業家の育成や企業誘致などによる働く場の創出」については東校区と西校区が高い結果となった。



③ 生活基盤の整備について、力を入れるべき分野(2つまで回答)

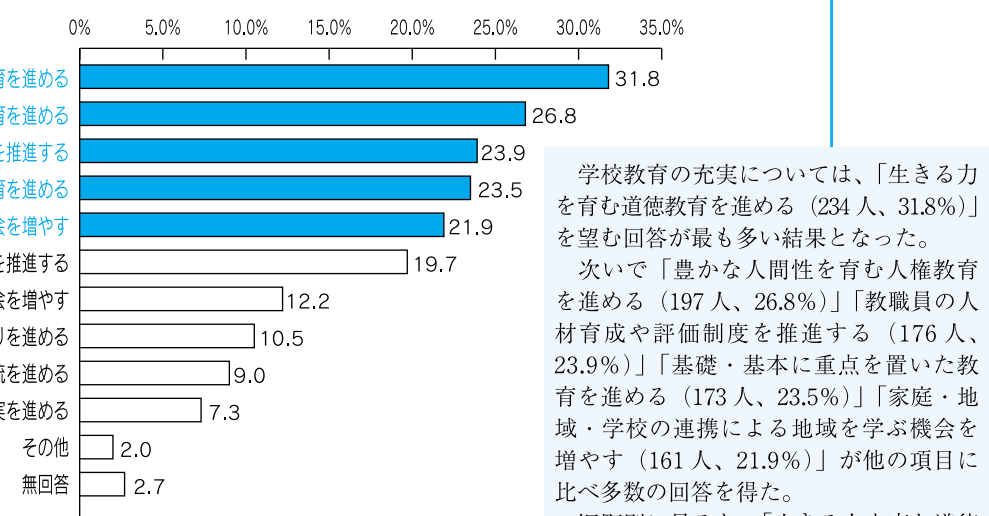
生活基盤の整備については、「町内の集落間を結ぶ生活道路を整備する(305人、40.9%)」「町と周辺市町を結ぶ幹線道路を整備する(256人、34.3%)」「既存集落の景観を保全し、環境美化を進める(231人、31.0%)」が他の項目に比べ高い回答を得た。



(4) 教育

① 学校教育の充実について、力を入れるべき分野(2つまで回答)

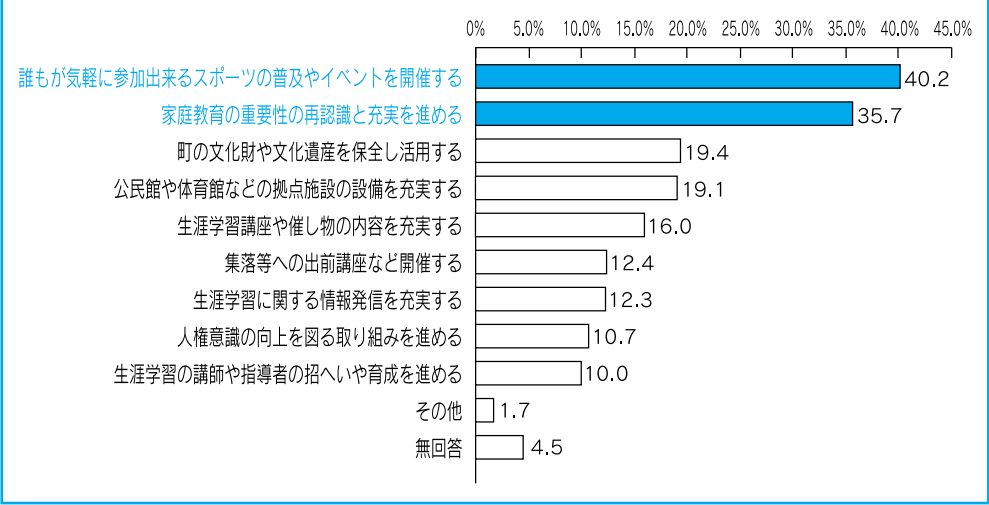
生きる力を育む道徳教育を進める(234人、31.8%)」「豊かな人間性を育む人権教育を進める(197人、26.8%)」「教職員の人材育成や評価制度を推進する(176人、23.9%)」「基礎・基本に重点を置いた教育を進める(173人、23.5%)」が他の項目に比べ高い回答を得た。このことから、家庭や地域における社会教育環境のソフト面の充実が期待されていると思われる。



学校教育の充実については、「生きる力を育む道徳教育を進める(234人、31.8%)」を望む回答が最も多い結果となった。次いで「豊かな人間性を育む人権教育を進める(197人、26.8%)」「教職員の人材育成や評価制度を推進する(176人、23.9%)」「基礎・基本に重点を置いた教育を進める(173人、23.5%)」「家庭・地域・学校の連携による地域を学ぶ機会を増やす(161人、21.9%)」が他の項目に比べ多数の回答を得た。旧町別に見ると、「生きる力を育む道徳教育を進める」と「豊かな人間性を育む人権教育を進める」は、旧町別の大きな差異は見られないものの、「基礎・基本に重点を置いた教育を進める」については旧三加和町の期待が高い結果となった。

② 社会教育・社会体育・文化振興について、力を入れるべき分野(2つまで回答)

社会教育・社会体育・文化振興については、「誰もが気軽に参加出来るスポーツの普及やイベントを開催する(301人、40.2%)」「家庭教育の重要性の再認識と充実を進める(267人、35.7%)」が他の項目に比べ多数の回答を得た。このことから、家庭や地域における社会教育環境のソフト面の充実が期待されていると思われる。



まちの話題

①こだわりの韓国料理を給食に

給食記念週間（1月22日～26日）

1月25日（木）、菊水地区の学校給食で、当町の姉妹都市である韓国「公州市」の料



▲のりで上手に巻いていただきます！

理を味わってもらおうと、こだわりの韓国メニューが登場しました。
献立の主食は「キンパ」という韓国風の巻きで、和え物と卵焼きをのりで巻いて食べます。副食は「チゲ」というトウガラシのはいったスープ。他には「たちうお」をカラリと焼いてオリジナルのピリカラソースをからめたものと、「ソンピョン」というだんごのデザートです。「ソンピョン」は米の粉をお湯で練って、公州市特産の「栗」を包んでゆでて、「えごま」というシソ科の植物油をまぶして食べる、韓国ではなじみ深い家庭料理です。

このメニューは、給食センターの職員が実際に韓国を訪れた際、食の交流を大切にしているということから実現し、韓国に直接電話で尋ねたり、熱心に本で調べたりしてできたメニューで、ひとつひとつが手作りであります。また、調理に使われた白菜とほうれん草は新鮮な和水分産が使われました。このように、たくさんの方たちの熱意と努力で実現した今回の企画は、子どもたちにも大好評でした。

②心をひとつに・・・

和水町駅伝大会【第32回三加和分団親善駅伝大会】

1月21日（日）、三加和総合支所前をスタート・ゴールとする「和水町駅伝大会（第32回三加和分団親善駅伝大会）」が開催されました。

全13区間のコースを9チームで競い合いました。

中盤までは、激しくトツプが入れ替わる大接戦となりましたが、6区で第3分団がトップになると、追いかけてくる後続を振り切っ



▲優勝した第3分団の選手のみなさん

優勝	第3分団
準優勝	第5分団
3位	第9分団
4位	第6分団
5位	第1分団
6位	第7分団
7位	第8分団
8位	第4分団
9位	第2分団

《総合成績》

《躍進賞》	第6分団
《最優秀選手賞》（敬称略）	第3分団 仙頭ゆかり（上十町）
《奨励賞》	第5分団 福原 紀香（和仁）
《敢闘賞》	第7分団 藤原 章裕（上大田黒）

⑤鬼はそと！福はうち！

神尾保育園豆まき交流会

2月2日（金）、神尾保育園で節分にちなみ豆まきが行われました。園児たちは、この日のために自分たちでおもいおもいの鬼のお面を作成。当日は、ふれあいサロン神尾校区のおばあちゃん達も参加し、園児たちと一緒に「幸せがきますように！」と豆まきを楽しんでいました。

◀鬼はそと！福はうち！

また、豆まき終了後は音楽グループ『風音』と和水町の読み聞かせグループ『みどりの樹』によるほのぼのコンサートが行われました。琴や尺八などの和楽器と絵本の読み聞かせの融合が実現し、園児たちも食い入るように見つめ、一味違った節分を体験することができました。



▲品川有樹子さんと村の子どもたち

私は、2年間青年海外協力隊としてニジェールで活動しました。ニジェールはアフリカ大陸の西部にある内陸国です。国土は日本の4倍ですが、その3分の2は砂漠。そのため、一番暑い季節は気温が50度を超すので、作物があまりとれません。人口は1,200万人、約6種の民族が暮らしていて、言葉も民

④ニジェールという国をどう存じますか？

青年海外協力隊としての活動を終えて 品川 有樹子さん（久米野）

族の数だけあります。1日1ドル以下で過ごす人が人口の60%を占める最貧国です。私の活動先は聾学校でした。就学率が38%というこの国では、障害を持つっている児童が十分な教育を受けるための仕組みは整っていません。活動は現地の教師と協力して進めていきました。学校菜園を始め、収穫した野菜を売り、学校運営の資金にしたり、地域住民の理解を得るため、文化祭を企画したりしました。慣れない環境に戸惑うこともありましたが、ニジェールの方々に支えられ、無事2年間の通過することができました。



▶ほのぼのコンサートの様子

戦国肥後国衆まつりでは、いろいろなイベントが開催されました。その中から、主な催し物を挙げてみました。

- 神尾保育園園児の鼓笛演奏・あおば保育園園児のバトンと龍踊り・春富保育園園児のせせらぎ太鼓
- 山森子ども神楽・内田神楽
- 和水町子ども会による子ども修羅レースと一般参加の先陣修羅レース
- 肥後ちよんかけごま
- 青年団の「肥後にわか（劇）」
- 津軽三味線の演奏
- 南蛮毛物語・武者行列と一揆の再現
- 『豊臣軍勢対和仁軍勢』
- みかわ太鼓
- 三加和中剣道部と剣道クラブの形の披露（剣の道）
- 豪華商品が当たるお楽しみ抽選会

この他にもたくさんのお楽しみイベントや地元特産品などの販売等の楽市・楽座コーナーなど、多くの人でにぎわいました。

第30回 戦国肥後国衆まつり 10大イベント



神楽の披露

三加和地区の保存会による山森子ども神楽（写真左）、菊水地区の内田区消防団による内田神楽（写真右）の見事な舞と楽による共演があり、厳粛な雰囲気にも包まれました。

まちの話題 戦国肥後国衆まつりスペシャル



先陣修羅レース

迫力満点の大人による先陣修羅レース。真剣にタイムを競い合ったり、パフォーマンスで楽しませてくれたりと会場を盛り上げてくれました。



肥後ちよんかけごま

見事なまでのコマさばきに司会の黒木よしひろさんも興味津々。



津軽三味線演奏

三加和町商工会の平野さんらによる演奏。力強い音色を奏で、聞く人を魅了しました。

合併して初めてとなる第30回戦国肥後国衆まつり。みなさんにとっては、どのような祭りになったでしょうか。今回の戦国肥後国衆まつりも、いろいろな催し物がありました。今月は、まちの話題をちよんと拡大して、スペシャル版でお届けしたいと思います。祭りに参加した人も参加できなかった人も、これを見てぜひ戦国時代を味わってください。



オープニング

勇ましい武者とかわいい園児たちとの掛け声とともに、まつりがスタート。エイ、エイ、オー！

なんばんげ 南蛮毛物語

上和仁地区に実存する『南蛮毛』という地名に由来した悲しい物語。

南蛮娘

三加和という異国の地に馴染めず、短い生涯を終えた南蛮娘。

肥後にわか（和水町青年団）

肥後弁丸出し！お客さんも大爆笑！



鼓笛演奏

（神尾保育園）

息のあった鼓笛演奏とかわいいダンスで、まつりのオープニングを飾ってくれました。



戦国肥後国衆まつり

せせらぎ太鼓

春富保育園

せせらぎ太鼓（春富保育園）

かわいい園児たちが一生懸命がんばってくれました。



バトンと龍踊り（あおば保育園）

小さい園児たちが、一生懸命がんばってくれて、まるで本物の龍のようでした。（写真は龍踊り）

